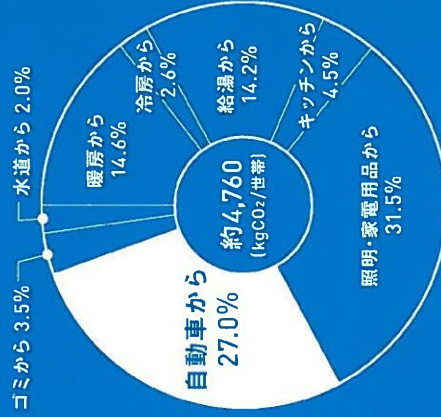


# 「移動」を「エコ」に。

いつもの暮らしから、始めよう。

smart move (スマート・ムーブ) とは、日常生活のさまざまな移動手段を工夫し、CO<sub>2</sub>排出量を削減しようとする取組です。家庭から排出されるCO<sub>2</sub>では、自動車からの排出量が約3割と多くなっています。CO<sub>2</sub>排出量の少ない移動を実践することで、健康にも良く、快適で地球にもやさしい暮らし方ができるのです。



2010年度 家庭からの二酸化炭素排出量  
(世帯当たり・用途別内訳)

出典：温室効果ガスインベントリオフイスをもとに作成

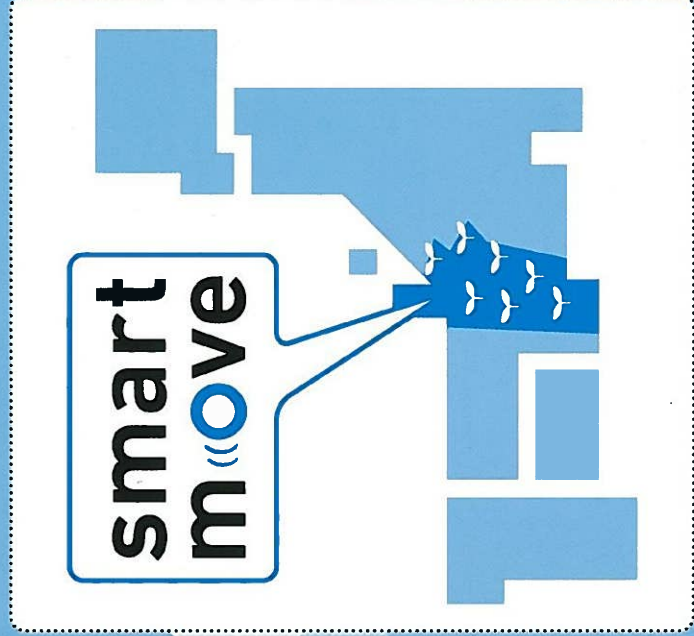
## 交通手段利用率における自動車利用率比率

(出典：「第4回京都市圏パーセントリップ調査」)

京都市圏	33.1%
京阪神都市圏	31.7%
中京都市圏	56.3%

今、私たちの街でsmart moveが求められています。

賢い移動、CO<sub>2</sub>排出量の少ない移動に  
チャレンジするsmart move。  
中部エリアでも、始まっています。



作成：環境省 中部地方環境事務所

それ っ て  
**smart  
m<sup>o</sup>ove**

スマートな人は、もうはじめています。  
smart move

詳しくは、**スマート・ムーブ** で検索

## smart move が 推進する5つの取組



### 2. 自転車、徒歩での移動を見直そう



自転車や徒歩はCO<sub>2</sub>を全く出さない移動方法、これを究極のsmart moveです。  
通勤・通学で、波源の起こりやすい都市中心部、そして集客エリアの移動などは積極的に自転車や徒歩で、地球温暖化防止につながるのほもちろんのこと、なにより健康的です。

### 1. 電車、バス等の公共交通機関を利用しよう



通勤や通学はもちろん、旅行やちょっとした外出なども電車やバスの利用を心がけましょう。ハイブリッドバスやLRT\*などの低炭素な公共交通や、自然エネルギーを活用した最新の車両等も登場しています。また、目的地に定期的に到着できる正座車も、日本の公共交通機関の魅力です。  
\*LRT: ライトレール・トランジットの略、電鉄系車両の導入により移動のバリエーションなど、人と環境にやさしい次世代は電鉄車システム。

### 3. 「カーシェアリング」や「コミュニティサイクル」など、CO<sub>2</sub>削減の取組に参加しよう



カーシェアリング  
1台の自転車にかかる費用を複数の名目で分担、利用するサービス。車を所有しないため5-10分程度の「ちょい乗り」が楽。車の利用時間も大幅に減るとのメリットも。

コミュニティサイクル  
借りた自転車を、違う場所までできる公共交通システム。東京、横浜、京都などの他、観光地でも普及しています。

### 4. 長距離移動を工夫しよう



例えば長距離は目的地への到着時間が正確な新幹などの公共交通機関、旅行先ではバス、電車、自転車を利用するなど、CO<sub>2</sub>を削減できる要素がたくさん。さらに飛行機の利用や旅行時に排出されるCO<sub>2</sub>をオフセット(埋め合わせ)できるエコ旅行やエコ出張の取組も登場しています。

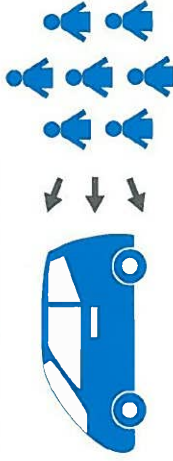
### 5. 自動車の利用を工夫しよう



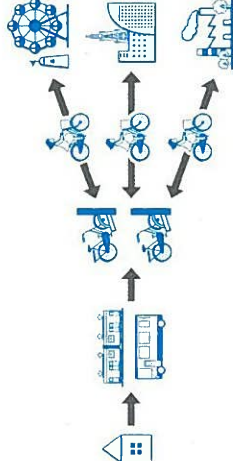
「ふんわりアクセル」や「アイドリングストップ」等のエコドライブは燃費も良くなり経済的。燃料消費量を最大で約1/4削減できるといっても、また、ハイブリッド車やEV車などエコカーへの乗り換えもCO<sub>2</sub>を大幅に削減できます。  
\*ふんわりアクセル: 目的地の到着より少し早めから減速する(車速30km/h以下)で20km/h以下でアクセルを踏まず。

## クルマを持たないという、新しいライフスタイル「カーシェアリング」、「コミュニティサイクル」

カーシェアリングとは、マイカーを持たずに、必要なときにだけ使うこと。そんな考え方が、若者を中心に広がっています。短時間から借りられ、その日の気分や目的で乗りたいたいクルマを選べる民間サービスも充実してきています。経済的なメリットも大きな魅力のひとつです。



コミュニティサイクルは、地球温暖化や大気汚染、渋滞等の対策として欧州の主要都市では一般化しており、日本においても国や地方自治体などで盛んに取り組まれています。



## 自転車・徒歩での移動は、これからのライフスタイルになる。

楽しさや健康という視点から、自転車で通勤や通学をする人が増えています。自転車はタイヤやパーツ、カラーリングなど、じつにさまざまなものがあり、それを選ぶ楽しみもあるようです。徒歩やランニングと組みあわせることで、健康にいいことはもちろん、車では感じられない魅力を発見し、住み慣れた街をもっと好きになるかもしれません。



## 「エコドライブ」。

それは、同乗者へのやさしさでもある。

### その1 | ふんわりアクセル「eスタート」

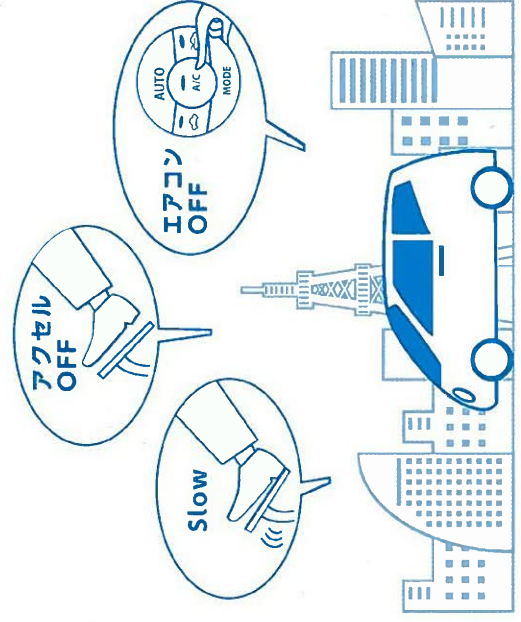
最初の5秒で、20km/hになるぐらいのペースが目安。燃費が10%程度向上するだけでなく、ふんわりアクセルは同乗者へのやさしさでもあります。

### その2 | 早めのアクセルオフ

減速時、早めにアクセルオフすることで、約2%の燃費が向上。急停止につながらない運転は、同乗者に安心感を与えます。

### その3 | エアコンの使用は適切に

気象条件に応じて、こまめに温度・風量・風置の調整を行ないましょう。



# COOL CHOICE

日頃の小さな選択が、  
未来を大きく変えていく。



上手に使えるカーテンは冷房にも暖房にもなる。



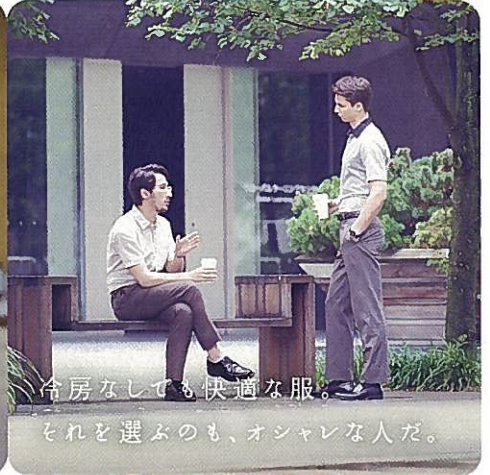
残さず食べる。  
食べ物を大切にする気持ちは、  
CO<sub>2</sub>だって減らしている。



LEDが照らし出すのは、  
環境に優しい未来です。



上手なラッピングとは、  
必要に応じた包装を選ぶこと。



冷房なしでも快適な服。  
それを選ぶのも、オシャレな人だ。



電気を消した2時間後、  
いつもと違う話ができる2時間だ。



地域の環境ボランティアに参加する。  
その影響は、地球規模です。



図書館は、  
冷房だって貸してくれる。



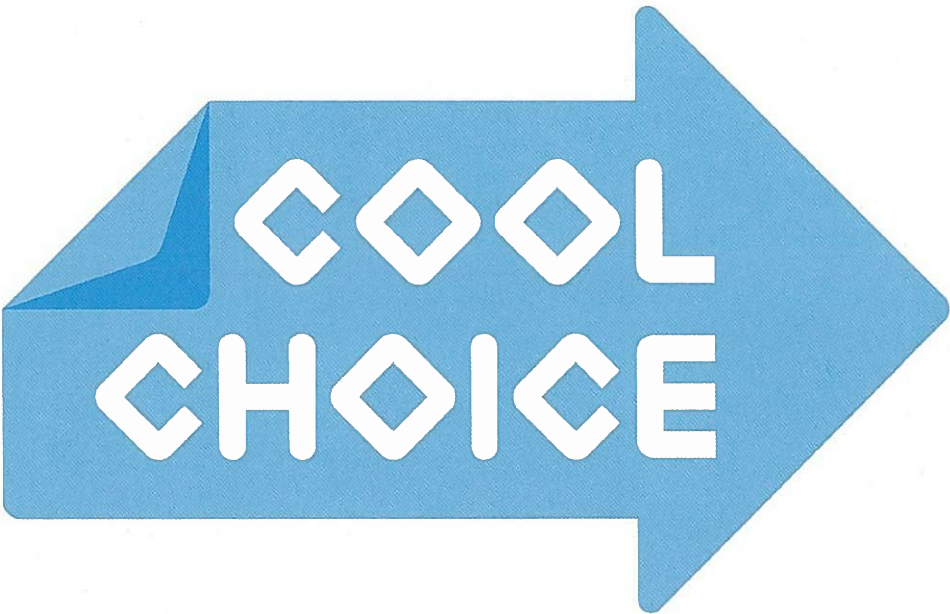
エコドライブ、  
ふんわりアクセルを踏めば、  
温暖化にブレーキがかかる。



季節に合ったインナーを選ぶ。  
手軽にできる省エネのひとつです。



あなたが残業すると、  
電気まで残業になる。



# COOL CHOICE

未来のために、いま選ぼう。

「COOL CHOICE (=賢い選択)」、  
スタート

「COOL CHOICE」とは、  
地球の未来のための「賢い選択」を意味します。  
政府が推進する地球温暖化対策のキーワードです。

なかなか減らない家庭からの温室効果ガス排出量を減らし、  
未来を変えるためには、ひとりひとりの意識と行動を変えて  
いかなければなりません。

「環境」、「温暖化対策」と言うと  
難しく聞こえるかもしれませんが、  
実は私たちが今すぐできることが、たくさんあります。

例えば、省エネで長寿命のLED照明に切り替える。  
例えば、エコドライブでCO<sub>2</sub>排出を削減する。  
例えば、残さず食べてエネルギーをムダにしない。

賢い選択をするということは、実は  
スマートなライフスタイルを楽しむということでもあるのです。

あなたは、どのアクションを選びますか？

“賢い選択”のヒントは、この矢印の先にあります。

【概念整理】 気候変動キャンペーン Fun to Share と新国民運動 COOL CHOICE の関係

- 目標達成のための場づくり

【温暖化防止全般】



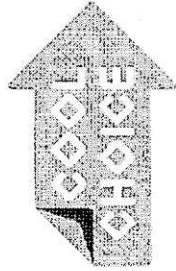
気候変動キャンペーン Fun to Share

「ガマンではなく、楽しく対策に取り組もう」と呼びかける温暖化防止全般にわたる国民運動。

- 目標達成のための行動指針 「賢い選択」を促す国民運動 COOL CHOICE

【賢い選択】

省エネ・低炭素型の製品・サービス等を「賢く選ぶ」ことにフォーカスを当てたキャンペーン。



例えば、エコカーを買う、という「選択」。  
 例えば、エコ住宅にする、エコ家電を買う、という「選択」。  
 例えば、高効率な照明に替える、公共交通を利用する、という「選択」  
 例えば、低炭素なアクションを習慣的に実践するというライフスタイルの「選択」

- 目標達成のための推奨する低炭素アクション【ライフスタイルの提案】

低炭素アクションを習慣的に実践するというライフスタイルの提案

